



～くるくるぬりえモビールに登場する生き物たち～
飼育員ワンポイントガイド



テングハギ



名前の由来にもなっている頭から伸びた長い角は、ちゃんと骨があり頑丈です。尾ビシの付け根にある青いトゲはナイフのように切れるので注意が必要です。沖縄では「ちぬまん」の名前で親しまれています。

タカサゴ



サンゴ礁域で大きな群れをつくり泳いでいる魚です。体は細長く、尾ビシの先が黒いのが特徴です。水中を泳いでいるときは青く見えますが、釣り上げられるとピンク色や赤色になります。沖縄県の県魚で、方言名の「グルクン」で親しまれています。

ミノエビ



水深 400mより深いところに暮らしています。体の大きさは 6cm ぐらいで、そんなに大きくはありませんが、危険を感じると、口から青白く光る液体を吐きだし、敵を驚かせることができるすごい秘密を持っているエビの仲間です。

